

自己査定、償却・引当等の状況(総括)

(単位:百万円)

自己査定に基づく 債務者区分	自己査定における分類区分				引当金残高 (引当率)	金融再生法に基づく 開示債権	リスク管理債権
	非分類	分類	分類	分類			
破綻先 113,752	担保・保証による保全部分 67,207	非保全部分 非保全部分の全額を引当て		個別貸倒引当金	186,408	破産更生債権及び これらに準じる債権 253,613	破綻先債権 111,475
実質破綻先 139,863		16,862	169,546		(100.0%) *3		延滞債権
破綻懸念先 381,193	担保・保証による保全部分 194,296	非保全部分 非保全部分の一部 を引当て 169,475	非保全部分の全 額を引当て 17,422	一般貸倒引当金	74,743	危険債権 381,193	518,974
					(40.0%) *3		
要管理先 240,664	要管理先債権 *2 今後3年間の予想損失 率により引当て 237,119		分類の全額を引当て 2,571	個別貸倒引当金	28,697	要管理債権 227,292 *2	3か月以上延滞債権 0
	要管理先以外の要注意先 695,431	要管理先以外の要注意先債権 今後1年間の予想損失 率により引当て 694,640			分類の一部 を引当て 192		8,499
					(11.9%) *3		
					(1.2%) *3		
正常先 4,744,729	正常先債権 今後1年間の 予想損失率に より引当て 4,744,641		分類の全額 を引当て 88	一般貸倒引当金	8,026		
						(0.2%) *3	
総計 6,315,632 *1				合計 306,374 (4.9%) *3		リスク管理債権合計 857,741 *1 (13.7%)	

*1 自己査定の対象債権は、貸付金(社債を含む。)、貸付金に準ずる債権(未収貸付金利息、貸付金に準ずる仮払金、求償権、支払承諾見返及び未収金)及びその他の証券等であり、リスク管理債権の対象債権は貸付金です。
 *2 「要管理債権」は個別貸付金ベースで、リスク管理債権における3か月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に一致します。
 「要管理先債権」は、「要管理債権」を有する債務者に対する債権額です。
 *3 破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に係る引当率は非保全部分に対するもので、要注意先及び正常先に係る引当率は債権額に対するものです。
 *4 その他の証券等は、便宜的に自己査定に基づく債務者区分を要管理先以外の要注意先に含めております。

自己査定、償却・引当等の状況（融資勘定）

(単位:百万円)

自己査定に基づく 債務者区分	自己査定における分類区分				引当金残高 (引当率)	金融再生法に基づく 開示債権	リスク管理債権
	非分類	分類	分類	分類			
破綻先 111,753	担保・保証による保全部分 67,207	非保全部分 非保全部分の全額を引当て		個別貸倒引当金	182,931	破産更生債権及び これらに準じる債権 250,137	破綻先債権 111,475
実質破綻先 138,384		16,862	166,069		(100.0%) *3		
破綻懸念先 380,847	担保・保証による保全部分 194,296	非保全部分 非保全部分の一部 を引当て 169,173	非保全部分の全額 を引当て 17,378	一般貸倒引当金	74,493 (39.9%) *3	危険債権 380,847	518,974
要管理先 240,274	要管理先債権 *2 今後3年間の予想損失率 により引当て 236,729		分類の全額を引当て 2,571	一般貸倒引当金	28,561 (11.9%) *3	要管理債権 *2 227,292	3カ月以上延滞債権 0 貸出条件緩和債権 227,292
	要管理先以外の要注意先 682,619	要管理先以外の要注意先債権 今後1年間の予想損失率 により引当て 681,979	分類の一部 を引当て 192		分類の全額 を引当て 448		
正常先 4,271,746	正常先債権 今後1年間の 予想損失率に より引当て 4,271,658		分類の全額 を引当て 88		7,679 (0.2%) *3	正常債権 4,961,659	
総計 5,825,623 *1					合計 301,168 (5.2%) *3		リスク管理債権合計 857,741 *1 (14.8%)

*1 自己査定の対象債権は、貸付金(社債を含む。)、貸付金に準ずる債権(未収貸付金利息及び貸付金に準ずる仮払金)及びその他の証券等であり、リスク管理債権の対象債権は貸付金です。

*2 「要管理債権」は個別貸付金ベースで、リスク管理債権における3カ月以上延滞債権及び貸出条件緩和債権に一致します。

「要管理先債権」は、「要管理債権」を有する債務者に対する債権額です。

*3 破綻先、実質破綻先及び破綻懸念先に係る引当率は非保全部分に対するもので、要注意先及び正常先に係る引当率は債権額に対するものです。

*4 その他の証券等は、便宜的に自己査定に基づく債務者区分を要管理先以外の要注意先に含めております。

他勘定の貸倒引当金の状況

証券化支援買取業務勘定	445 百万円
証券化支援保証業務勘定	4,759 百万円
機械保険経過業務勘定	2 百万円